

Introduction



# 研修医日記

当院の臨床研修について

一年次研修医 山下真理子



皆さん、こんにちは。長崎みなとメディカルセンター市民病院基幹型初期研修医1年目の山下真理子です。初期研修医は、月の単位で院内のさまざまな科で研修します。まだ1年経っていませんが、これまで外科、救急科、呼吸器内科、病理診断科、消化器内科で研修を行い、そして現在心臓血管内科での研修が始まったところです。どの科でも熱心に指導して下さいる先生方にご指導いただき、看護師さんを始めスタッフの方々からも円滑に患者さんの入退院・検査が出来るように助けて(導いて)もらっています。

先に示した通り、研修中は各科を転々としていきます。科のスケジュールや仕事の仕方がわかりかけてきて、興味も膨らんできて、さあこれからというところで移動の時期がやってきてしまうというのが実際のところかもしれません。ですが、ひとつの診療科が単独で診療を行うわけではありません。日々のコンサルテーションを通じて科と科の関わりを実感しています。その際、相談のしやすい雰囲気を実感するときが、市民病院で研修できてよかったと思う瞬間でもあります。

もう一つ、当院での研修医には救急外来の当直業務があります。ファーストタッチをさせて頂ける貴重な機会です。診察や検査の選択、説明など難しいと感じることは多々ありますが、指導していただけるのもこの2年間です。それを自覚して努めたいと思います。

もうすぐ研修が始まり丸一年を迎えます。この一年間、きつい時も明るくしてくれた2年目の先輩方は市民病院から巣立っていかれます。寂しい気持ちはありますが、次迎える後輩たちのために、私たち1年目も一層協力していい雰囲気を作っていきたいと思います。

ここまでご一読いただいた皆様、今後とも私たち研修医を多方面からご指導ください。よろしく願いいたします。

